

●実務経験のある教員等による授業科目

音楽ビジネス科

芸能マネージャーコース

| | 科目 | 1年 | 2年 | 必修の別 | 授業形式 | 実務経験の有無の別 | 実務経験授業の時数 |
|---------|-------------------|------|-----|------|------|-----------|-----------|
| 全科共通科目 | SHOW!音楽エンタテイメントゼミ | 45 | 45 | 必修 | 講義 | ○ | 90 |
| | デビュー・就職実務Ⅰ | 72 | | 必修 | 講義 | | - |
| | デビュー・就職実務Ⅱ | | 55 | 必修 | 講義 | | - |
| | 著作権 | | 25 | 必修 | 講義 | | - |
| | PC実習 | 54 | | 必修 | 講義 | | - |
| | 選択授業 | 34 | 34 | 必修 | 講義 | | - |
| | 異文化研究 | 20 | 20 | 必修 | 講義 | | - |
| | イベント制作実習A | 151 | 153 | 必修 | 実習 | ○ | 304 |
| | イベント制作実習B | 298 | 300 | 必修 | 実習 | ○ | 598 |
| 専門科目 | デザイン実習Ⅰ | 38 | | 必修 | 講義 | | - |
| | 番組制作実習 | 38 | | 必修 | 実習 | ○ | 38 |
| | 舞台機構調整技能Ⅰ | 38 | | 必修 | 実習 | ○ | 38 |
| | 映像制作基礎 | 38 | | 必修 | 実習 | ○ | 38 |
| | ライブマーケティングⅠ | 34 | | 必修 | 講義 | ○ | 34 |
| | ビジネス経営学 | 49 | | 必修 | 講義 | | - |
| | イベント企画制作実習 | 15 | 30 | 必修 | 実習 | ○ | 45 |
| | デザイン実習Ⅱ | | 38 | 必修 | 講義 | | - |
| | メディアプロモーション | | 38 | 必修 | 講義 | ○ | 38 |
| | 地域創生論 | | 38 | 必修 | 講義 | ○ | 38 |
| | ライヴマーケティングⅡ | | 38 | 必修 | 講義 | ○ | 38 |
| | 雑誌編集・情報発信基礎 | | 34 | 必修 | 講義 | ○ | 34 |
| | デジタルマーケティング | | 34 | 必修 | 講義 | ○ | 34 |
| | | | | | | | - |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| | | | | | | - | |
| 合計 | 総授業時間数 | 924 | | | | | |
| 合計 | 総授業時間数 | | 882 | | | | 合計 |
| 卒業時最少時間 | | 1806 | | | | | 1367 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|--------------------|---|---------|-------|
| 科目名 | SHOW!音楽エンタテインメントゼミ | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 永島麻耶(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1・2 | 年 | 総授業時間 | 45 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師としてお呼びし、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 2 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 3 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 4 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 5 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 6 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 7 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 8 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 9 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 10 | 後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 11 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 12 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 13 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 14 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 15 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 16 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 17 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 18 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |
| 19 | 特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | なし 授業形態／遠隔授業のみ実施 |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2022年度例) エイベックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、株式会社コレオグラフィー、合同会社UNITY 等 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------------|---|---------|-------|
| 科目名 | デビュー・就職実務 I | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 早福 俊明 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 72 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。 また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率95.0%を目指す。後期対策授業は22コマを予定</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|---------------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 動機付け、社会人としてのルールの基本指導①、新潟県について |
| 2 | 社会人としてのルールの基本指導② 卒後やアルバイトで役に立つ労働法クイズ |
| 3 | 第1編1章 メールについて① |
| 4 | 第1編2章 メール発信のフィードバック、送付状の書き方① |
| 5 | 第1編3章① 送付状の書き方フィードバック 就職につながるフジロック等アルバイト説明 |
| 6 | 第1編3章② 履歴書の書き方指導、前期期末試験(課題提出)について説明 |
| 7 | 第2編2章 特別講師による講義・レポート提出 |
| 8 | 第3編4章 特別講師による講義・レポート提出 |
| 9 | 社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導 |
| 10 | 就職年次生の活動状況からの進路指導 特別講師による講義・レポート提出 |
| 11 | 2級問題から社会人基礎能力指導① 名刺交換・保管など 特別講師による講義・レポート提出 |
| 12 | 2級問題から社会人基礎能力指導② 特別講師による講義・レポート提出 |
| 13 | ジョブカードを使用した進路先確認① 特別講師による講義・レポート提出 |
| 14 | ジョブカードを使用した進路先確認② 特別講師による講義・レポート提出 |
| 15 | 履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出 |
| 16 | 後期期末試験(課題提出)について説明、進級時特待の案内 特別講師による講義・レポート提出 |
| 17 | 特別講師による講義・レポート提出 |
| 18 | 特別講師による講義・レポート提出 |
| 19 | 特別講師による講義・レポート提出 |
| 20 | 就活・顔診断セミナー、生活設計、模擬面接・指導 |
| 教科書等 | 社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施 |
| 成績評価 | 前期：課題レポート提出45%、期末課題(試験)提出35%、出席率20% 後期：課題レポート提出30%、期末課題(試験)提出30%、検定結果30%、出席率10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の 経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|---------------------|---|---------|-------|
| 科目名 | デビュー・就職実務Ⅱ | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 永島 麻耶 (コーディネーター) | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 55 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | 就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。デビュー・就職の実現に向け随時個別ヒアリングとフォローを実施。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。 |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|--|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | アーティスト志望:【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。 就職志望: I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。 |
| 2 | アーティスト志望:「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談 就職志望:「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談 |
| 3 | アーティスト志望: 現状プロフィールシートの更新。確認と再作成 就職志望: 履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど) |
| 4 | アーティスト志望: プロフィールシートの提出 就職志望: 履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)と提出 |
| 5 | アーティスト志望: プロフィールシートの添削フィードバック 就職志望: 履歴書・必要書類の添削フィードバック |
| 6 | アーティスト志望: ①【活動報告書】の作成と提出 就職志望: ①【活動報告書】の作成と提出 |
| 7 | アーティスト志望: ①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望: ①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 |
| 8 | アーティスト志望: オーディション対策(自己PRの練習) 就職志望: 面接対策(自己PR、志望動機の練習) |
| 9 | アーティスト志望: 個別面談・フィードバック 就職志望: 個別面談・フィードバック |
| 10 | アーティスト志望: 【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など 就職志望: 【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など |
| 11 | アーティスト志望: 目標について個別ヒアリング面談(未決定者フォロー) 就職志望: 目標について個別ヒアリング面談(未決定者フォロー) |
| 12 | アーティスト志望: ②【活動報告書】の作成と提出 就職志望: ②【活動報告書】の作成と提出 |
| 13 | アーティスト志望: ②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望: ②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 |
| 14 | アーティスト志望: 現状プロフィールシートの更新。確認と再作成 就職志望: ②面接対策(自己PR、志望動機の練習) |
| 15 | アーティスト志望: プロフィールシートの提出 就職志望: 未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者) |
| 16 | アーティスト志望: プロフィールシートの添削フィードバック 就職志望: 未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者) |
| 17 | アーティスト志望: オーディション対策(企業リサーチ、自己PR、具体的な内容を踏まえ個別指導) 就職志望: 未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者) |
| 18 | アーティスト志望: オーディション対策(企業リサーチ、自己PR、具体的な内容を踏まえ個別指導) 就職志望: 未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー・生活設計シート作成(内定者) |
| 19 | アーティスト志望: オーディション対策(企業リサーチ、自己PR、具体的な内容を踏まえ個別指導) 就職志望: 未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー・生活設計シート作成(内定者) |

| | |
|---------------|---|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施 |
| 成績評価 | テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の 経歴 | なし |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------|---|---------|-------|
| 科目名 | 著作権 | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 梅川 洗平 | | 講義実施時期 | 前期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 25 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。 自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|---------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 動機付け、DVD視聴&解説 |
| 2 | X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上 |
| 3 | II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上 |
| 4 | IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上 |
| 5 | VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上 |
| 6 | VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上 |
| 7 | 模擬問題①②の実施及び解説 |
| 8 | 模擬問題③④の実施及び解説 |
| 9 | 模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出 |

| | |
|---------------|---|
| 教科書等 | テキスト及びDVD(著作権情報センター借用) 授業形態/対面授業のみ実施 |
| 成績評価 | 模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の 経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------|---|---------|-------|
| 科目名 | PC実習 | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 早福 俊明 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 54 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|---------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施 |
| 2 | テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①② |
| 3 | 模擬試験①～③ |
| 4 | 模擬試験④～⑥ |
| 5 | 模擬試験⑦、サンプル問題 |
| 6 | Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施 |
| 7 | テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①② |
| 8 | 模擬試験①～③ |
| 9 | 模擬試験④～⑥ |
| 10 | 模擬試験⑦、サンプル問題 |

| | |
|---------------|---|
| 教科書等 | <p>テキスト・問題集(Word・Excel共に) 自作のプリント 授業形態／対面授業のみ実施</p> |
| 成績評価 | <p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の 経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|----------------|---|---------|-------|
| 科目名 | 選択授業 | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 永島麻耶(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1・2 | 年 | 総授業時間 | 34 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる |
| 2 | 各科目による |
| 3 | 各科目による |
| 4 | 各科目による |
| 5 | 各科目による |
| 6 | 各科目による |
| 7 | 各科目による |
| 8 | 各科目による |
| 9 | 前期評価 各科目による |
| 10 | 後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる |
| 11 | 各科目による |
| 12 | 各科目による |
| 13 | 各科目による |
| 14 | 各科目による |
| 15 | 各科目による |
| 16 | 各科目による |
| 17 | 各科目による |
| 18 | 各科目による |
| 19 | 後期評価 各科目による |

| | |
|---------------|--|
| 教科書等 | ※各科目による 授業形態／対面授業のみ実施 |
| 成績評価 | ※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の 経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------|---|---------|-------|
| 科目名 | 異文化研究 | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 早福 俊明 | | 講義実施時期 | 後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1・2 | 年 | 総授業時間 | 20 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | 音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。 |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|-----------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション チーム分け 研究国決定 |
| 2 | 研究① PP作成 |
| 3 | 研究② PP作成 |
| 4 | 研究③ PP作成 |
| 5 | 各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価 |

| | |
|---------------|---|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業のみ実施 |
| 成績評価 | 成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の 経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|----------------|---|---------|--------|
| 科目名 | イベント制作実習A | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 永島麻耶(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 前期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 151 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|----------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション 各専攻ステージ制作 |
| 2 | 各専攻ステージ制作 |
| 3 | 各専攻ステージ制作 |
| 4 | 各専攻ステージ制作 |
| 5 | 各専攻ステージ制作 |
| 6 | 各専攻ステージ制作 |
| 7 | 各専攻ステージ制作 |
| 8 | 各専攻ステージ制作 |
| 9 | 各専攻ステージ制作 |
| 10 | 各専攻ステージ制作 |
| 11 | 各専攻ステージ制作 |
| 12 | 各専攻ステージ制作 |
| 13 | 各専攻ステージ制作 |
| 14 | 各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等) |
| 15 | 本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番) |
| 16 | 本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番) |
| 17 | フィードバック・反省会 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業のみ実施 |
| 成績評価 | 作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|----------------|---|---------|--------|
| 科目名 | イベント制作実習B | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 永島麻耶(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 298 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|----------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション 各専攻ステージ制作 |
| 2 | 各専攻ステージ制作 |
| 3 | 各専攻ステージ制作 |
| 4 | 各専攻ステージ制作 |
| 5 | 各専攻ステージ制作 |
| 6 | 各専攻ステージ制作 |
| 7 | 各専攻ステージ制作 |
| 8 | 各専攻ステージ制作 |
| 9 | 各専攻ステージ制作 |
| 10 | 各専攻ステージ制作 |
| 11 | 各専攻ステージ制作 |
| 12 | 各専攻ステージ制作 |
| 13 | 各専攻ステージ制作 |
| 14 | 各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①) |
| 15 | 各専攻ステージ制作 |
| 16 | 各専攻ステージ制作 |
| 17 | 各専攻ステージ制作 |
| 18 | 各専攻ステージ制作 |
| 19 | 各専攻ステージ制作 |
| 20 | 各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②) |
| 21 | 各専攻ステージ制作 |
| 22 | 各専攻ステージ制作 |
| 23 | 各専攻ステージ制作 |
| 24 | 各専攻ステージ制作 |
| 25 | 各専攻ステージ制作 |
| 26 | 各専攻ステージ制作 |
| 27 | 各専攻ステージ制作 |
| 28 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①) |
| 29 | 各専攻ステージ制作 |
| 30 | 各専攻ステージ制作 |
| 31 | 各専攻ステージ制作 |
| 32 | 各専攻ステージ制作 |
| 33 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②) |
| 34 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③) |
| 35 | 各専攻ステージ制作 |
| 36 | 各専攻ステージ制作 |
| 37 | 各専攻ステージ制作 |
| 38 | 各専攻ステージ制作 |
| 39 | 各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等) |
| 40 | 各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ) |
| 41 | 各専攻ステージ制作(本番) |
| 42 | フィードバック・反省会 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業のみ実施 |
| 成績評価 | 作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|----------------|---|---------|--------|
| 科目名 | イベント制作実習A | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 永島麻耶(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 前期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 153 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|----------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション 各専攻ステージ制作 |
| 2 | 各専攻ステージ制作 |
| 3 | 各専攻ステージ制作 |
| 4 | 各専攻ステージ制作 |
| 5 | 各専攻ステージ制作 |
| 6 | 各専攻ステージ制作 |
| 7 | 各専攻ステージ制作 |
| 8 | 各専攻ステージ制作 |
| 9 | 各専攻ステージ制作 |
| 10 | 各専攻ステージ制作 |
| 11 | 各専攻ステージ制作 |
| 12 | 各専攻ステージ制作 |
| 13 | 各専攻ステージ制作 |
| 14 | 各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等) |
| 15 | 本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番) |
| 16 | 本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番) |
| 17 | フィードバック・反省会 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業のみ実施 |
| 成績評価 | <p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の経歴 | <p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等</p> |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|----------------|---|---------|--------|
| 科目名 | イベント制作実習B | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 永島麻耶(コーディネーター) | | 講義実施時期 | 後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 300 時間 |
| 対象学科 | 全学科 | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|----------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション 各専攻ステージ制作 |
| 2 | 各専攻ステージ制作 |
| 3 | 各専攻ステージ制作 |
| 4 | 各専攻ステージ制作 |
| 5 | 各専攻ステージ制作 |
| 6 | 各専攻ステージ制作 |
| 7 | 各専攻ステージ制作 |
| 8 | 各専攻ステージ制作 |
| 9 | 各専攻ステージ制作 |
| 10 | 各専攻ステージ制作 |
| 11 | 各専攻ステージ制作 |
| 12 | 各専攻ステージ制作 |
| 13 | 各専攻ステージ制作 |
| 14 | 各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①) |
| 15 | 各専攻ステージ制作 |
| 16 | 各専攻ステージ制作 |
| 17 | 各専攻ステージ制作 |
| 18 | 各専攻ステージ制作 |
| 19 | 各専攻ステージ制作 |
| 20 | 各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②) |
| 21 | 各専攻ステージ制作 |
| 22 | 各専攻ステージ制作 |
| 23 | 各専攻ステージ制作 |
| 24 | 各専攻ステージ制作 |
| 25 | 各専攻ステージ制作 |
| 26 | 各専攻ステージ制作 |
| 27 | 各専攻ステージ制作 |
| 28 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①) |
| 29 | 各専攻ステージ制作 |
| 30 | 各専攻ステージ制作 |
| 31 | 各専攻ステージ制作 |
| 32 | 各専攻ステージ制作 |
| 33 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②) |
| 34 | 各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③) |
| 35 | 各専攻ステージ制作 |
| 36 | 各専攻ステージ制作 |
| 37 | 各専攻ステージ制作 |
| 38 | 各専攻ステージ制作 |
| 39 | 各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等) |
| 40 | 各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ) |
| 41 | 各専攻ステージ制作(本番) |
| 42 | フィードバック・反省会 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業のみ実施 |
| 成績評価 | 作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-----------|---|---------|---------------------------|
| 科目名 | デザイン実習 I | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 中野和音/塩田美月 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 38 時間 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | コンサート・ライブスタッフ 芸能マネージャーコース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | Illustratorの基本操作を学び、HP、フライヤーデザインなど実践的な操作を目標とする。 検定取得に向けた演習問題の実施等。 |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | ①【基本操作】Adobeソフトについて |
| 2 | ②【基本操作】Illustrator、Photoshop等のデザインソフトについて |
| 3 | ③【基本操作】Illustrator基本操作の実践 |
| 4 | ④【基本操作】Illustrator基本操作の実践 |
| 5 | ⑤【基本操作】Illustrator基本操作の実践 |
| 6 | ⑥【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題 |
| 7 | ⑦【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題 |
| 8 | ⑧【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題 |
| 9 | ⑨【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題 |
| 10 | ①【デザイン】演習問題 |
| 11 | ②【デザイン】演習問題 |
| 12 | ③【デザイン】演習問題 |
| 13 | ④【デザイン】演習問題 |
| 14 | ①【デザイン】演習問題・検定用問題実践 |
| 15 | ②【デザイン】演習問題・検定用問題実践 |
| 16 | ③【デザイン】演習問題・検定用問題実践 |
| 17 | ④【デザイン】演習問題・検定用問題実践 |
| 18 | ⑤【デザイン】演習問題・検定用問題実践 |
| 19 | ⑥【デザイン】演習問題・検定用問題実践 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | IllustratorクイックマスターCC・問題集 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施 |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | |

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|---------|-------|--------------------------|-------|
| 科目名 | 番組制作実習 | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 富澤弘晃 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 総授業時間 | 38 時間 |
| | | 対象コース | コンサートライブスタッフ/芸能マネージャーコース | |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>ラジオ番組の制作を通じ、企画立案力・制作力・ゲストブックイング・案件体験・プロモーション力を学ぶ。</p> <p>メインパーソナリティに吉本住みます芸人「いっすねー!山脇」氏を起用し、制作した番組は、「BSNラジオ」で「GGラジオ」として毎月最終日曜日25時～26時に放送します。</p> <p>新潟在住のアニソンシンガー中井佑香さんのレギュラーコーナーでは、アーティストのイベントやリリース、活動情報、ファン拡大を目標に発信。</p> <p>毎月番組のテーマに沿って企画・構成・制作、出演ブックイング等をセクションごとに分け、運営を行う。</p> <p>※授業時間外であっても、番組の制作活動は進行する。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 授業の趣旨・意義・ラジオ媒体と放送業界の説明。 ①講師自己紹介 ②ラジオ業界について ③番組制作という仕事について ④制作スケジュール説明 |
| 2 | ①新2年生からの引き継ぎ ②各担当者決定。収録準備(スタジオ使用方法等) |
| 3 | 先輩制作番組の確認、感想、GW前、説明と課題提示。①収録準備(スタジオ使用方法等)②ゲストブックイング内容:番組紹介(中井佑香ライブ告知等) |
| 4 | GW明け5月分収録原稿作成、実践～指導 |
| 5 | ①5月分 番組収録 |
| 6 | ①5月分挨拶&反省会 ②キューシート記入 ③番組ホームページ更新作業指導 |
| 7 | ①6月分搬入作業 ②キューシート記入 ③番組ホームページ更新作業指導 ④7月分番組内容決定～原稿作成。6月後半～8月末までのスケジュール説明。9月後期授業開始にあたっての説明と課題提示。 |
| 8 | ①前期授業の振り返り ②番組新企画発表 ③後期授業説明 ④10月分原稿確認 |
| 9 | ①10月分収録～編集課題 ②11月内容ミーティング |
| 10 | ①10月分チェック～搬入 ②11月分企画会議 ③原稿チェック |
| 11 | ①11月分番組内容決定 ②原稿作成 ③チェック&修正 |
| 12 | ①11月分収録 ②編集講座 |
| 13 | ①11月分反省会 ②編集課題確認 ③12月分内容ミーティング |
| 14 | ①グラコン向け PRO TOOLS素材作り講座 ②グラコンプロモーション企画会議 ③原稿確認 |
| 15 | ①12月分収録 / 1月分内容ミーティング |
| 16 | ①12月分編集課題確認 ②番組搬入 |
| 17 | ①業界就職についてのディスカッション |
| 18 | ①1月分編集課題確認 ②収録 ③番組搬入 |
| 19 | ①2月分編集課題確認 ②収録 ③番組搬入 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | 教科書は使用せず。ホワイトボード、PC画面投影等で行う。 |
| 成績評価 | 企画・制作課題80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価は(S(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可))の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | ラジオ番組制作ディレクターとして番組やイベントの企画・制作を行い24年目を迎える。 2020年6月末までFM PORTの各ワイド番組、アーティスト番組、特別番組、専門番組、野外音楽フェスティバルの立ち上げ～運営などを歴任。制作現場の統括、アウトドア専門番組やその関連イベント、野外音楽キャンプフェス等の企画制作なども行う。FM PORT閉局後、BSNウェブに所属し、BSNラジオの各番組を担当中。 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-----------|---|---------|---------------------------|
| 科目名 | 舞台機構調整技能Ⅰ | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 野本 展希 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 38 時間 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | コンサート・ライブスタッフ/芸能マネージャーコース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | <p>前期は舞台音響調整技能士3級取得を目指す。試験問題解集に基づいて学科試験、実技試験(判断等試験)の対策を行いながら音響、照明、舞台の知識を身に付ける。 後期は学生自身が制作、オペレート、出演するLIVEを実施。校内の備品を使いながら実習を中心に進める。生徒にはそれぞれの作業を経験してもらい、お互いどのような気持ちや考え方でやっているか理解してもらいイメージを共有することも目的である。</p> |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 【イントロダクション】舞台機構調整技能士3級試験について |
| 2 | 学科試験対策(1. 舞台一般) |
| 3 | 学科試験対策(2. 音響機構調整法) |
| 4 | 学科試験対策(2. 音響機構調整法) |
| 5 | 学科試験対策(3. 電気) |
| 6 | 学科試験対策(4. 関係法規) |
| 7 | 学科試験対策(5. 安全衛生) |
| 8 | ヒアリング試験(判断等試験)対策(楽器の名称、音について) |
| 9 | まとめ(不足箇所重点) |
| 10 | 音響基礎① モニター環境を整えてみよう(モニターから音を出してステージの中音を作る) |
| 11 | 音響基礎② 基本的なバンドのセッティングを仕込もう(結線、回線チェック、マイキング等) |
| 12 | 照明基礎① 基礎実習(機材説明、シユート、オペレート) |
| 13 | 楽器の使い方 ギターアンプやベースアンプ等の説明 ドラムセットの名称や組み方 資料説明 セット図、タイムテーブル、回線表等の解説 |
| 14 | LIVE発表に向けてミーティング 役割分担決めやセット図、タイムテーブル、回線表等の資料作成 |
| 15 | リハーサル① LIVE発表に向けてリハーサル |
| 16 | リハーサル② LIVE発表に向けてリハーサル |
| 17 | LIVE発表① 作成したタイムテーブル通りに、仕込み→リハー本番→バラシの一連の流れをやってみる |
| 18 | LIVE発表② 前回と同じことを別の役割で再度行う |
| 19 | 1年まとめ 感想レポートと授業アンケート |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | 公益社団法人 日本舞台音響家協会「舞台音響技能検定・過去問題ナビゲーション 舞台機構調整技能士3級」 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施 |
| 成績評価 | 前期:試験結果:60%(学科30%、実技30%)、授業態度および学習意欲40% 後期:技能予習・復習による課題クリア70%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務 ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務 舞台機構調整技能士2級 合格 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|---------|---|---------|---------------------------|
| 科目名 | 映像制作基礎 | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 多田歩花 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 38 時間 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | コンサート・ライブスタッフ/芸能マネージャーコース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 映像クリエイターとして、社会に出た時に即戦力となるべく、機材や技術の基礎知識を1から勉強する。また、組織の一員として必要な要素や立ち振る舞い、社会に出てからの勉強の仕方などについても実践を用いて学んでいく。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|---------------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 自己紹介 |
| 2 | 自己紹介動画制作 企画 2人1組 |
| 3 | 自己紹介動画制作 撮影 |
| 4 | 自己紹介動画制作 編集 |
| 5 | 自己紹介動画制作 発表 |
| 6 | YouTube動画制作 グループ決め 企画(vlog、企画もの、MVなど) |
| 7 | YouTube動画制作 撮影、編集 |
| 8 | YouTube動画制作 撮影、編集□ |
| 9 | YouTube動画制作 撮影、編集□ |
| 10 | YouTube動画制作 撮影、編集□ |
| 11 | YouTube動画制作 撮影、編集□ |
| 12 | TikTokアカウント開設 動画制作 グループ決め 企画 |
| 13 | TikTok動画制作 撮影、編集 |
| 14 | TikTok動画制作 撮影、編集 |
| 15 | TikTok動画制作 撮影、編集 |
| 16 | TikTok動画制作 撮影、編集 |
| 17 | TikTok動画制作 撮影、編集 |
| 18 | 動画分析 |
| 19 | まとめ |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施 |
| 成績評価 | 課題作品制作70%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 映像制作会社、株式会社MAD PRODUCTIONにてカメラマン・クリエイター歴2年 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|--------------|---|---------|---------------------------|
| 科目名 | ライヴマーケティング I | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 永島 麻耶 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 総授業時間 | 34 時間 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | コンサート・ライヴスタッフ/芸能マネージャーコース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | <p>コンサート・ライヴビジネスの基本知識を学ぶ。アーティストマネジメント・音楽業界の仕組み・業界の仕事(職種)など、業界就職の目標となるべく業界知識を授業で習得する。音楽エンタテインメント業界のビジネスモデルを用いてマーケティングやSNS業界、あたらしいエンタテインメント業界についても知識を学ぶ。</p> <p>前期には「SummerReview」後期には「GrandConcert」に向けての企画・制作・運営計画も含む。</p> |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|--|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 音楽ビジネスとは？「音楽ビジネス」とは何をビジネスにしているかの知識を学ぶ。 |
| 2 | 1回目で学んだ知識について振り返り、テーマごとに更に掘り下げ。音源・実演・グッズ・ファンクラブ(サービス) |
| 3 | GW明け。第1回～第3回までの振り返り。今一度授業内容への動機付け。 |
| 4 | 【音源】について。CD・配信・ストリーミングサービスの違い～世界指標、日本市場の楽曲売上を学ぶ。 |
| 5 | 【実演】について。コンサート・ライブ(実演)の運営・経費・携わるスタッフ・チケットシステムなどについて学ぶ。 |
| 6 | 【グッズ】について。グッズの仕事を知る。実際にグッズ制作を行なっている業者のサイトを使用。 |
| 7 | 【ファンクラブ(サービス)】について。ファンクラブ運営の仕事を知る。WEBとSNSなどを使用した展開について。 |
| 8 | 前段の授業で一通り通って来た仕事について、更にエンタテインメント業界の仕事ビッグアップして掘り下げていく。 プロダクション、コンサートプロモーター、レコード会社、音楽出版社、制作会社、ライヴ・エンターテインメントEXPO関連企業から抜粋。 |
| 9 | 前期授業の振り返り、まとめと後期授業内容予定の説明。テスト |
| 10 | 後期1回目。前期までの振り返り。今一度授業内容への動機付け。前期テストの振り返り。 |
| 11 | ①【エンタテインメント業界知識】プロダクション、コンサートプロモーター、レコード会社、音楽出版社、制作会社、ライヴ・エンターテインメントEXPO関連企業から抜粋。 |
| 12 | ②【エンタテインメント業界知識】プロダクション、コンサートプロモーター、レコード会社、音楽出版社、制作会社、ライヴ・エンターテインメントEXPO関連企業から抜粋。 |
| 13 | ①【音楽ビジネスマーケティング知識】プロモーション・マーケティングについて。ライヴ、グッズ、音楽サービスでのマーケットの仕組み。 |
| 14 | ②【音楽ビジネスマーケティング知識】プロモーション・マーケティングについて。ライヴ、グッズ、音楽サービスでのマーケットの仕組み。 |
| 15 | ③【音楽ビジネスマーケティング知識】プロモーション・マーケティングについて。ライヴ、グッズ、音楽サービスでのマーケットの仕組み。 |
| 16 | ①【音楽ビジネスマーケティング知識】からの企画(グループワーク) |
| 17 | ②【音楽ビジネスマーケティング知識】からの企画の発表(グループワーク)。プレゼンテーション実施 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | <p>なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施 参考: Music Ally Japan記事&セミナー、各種音楽エンタテインメント情報・ACPCサイト・音制連サイト 書籍: 「マネジメントの実務」「ヒットの崩壊」「音楽業界金のバイブル」「誰が音楽をタダにした」</p> |
| 成績評価 | <p>課題・グループワークへの取り組み、レポート課題提出80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> |
| 実務経験教員の経歴 | <p>コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(プロモーター・有料会報誌編集長として勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)</p> |

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|---------|-------|---------------------------|-------|
| 科目名 | ビジネス経営学 | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 早福俊明 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| 対象学年 | 1 | 年 | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 総授業時間 | 49 時間 |
| | | 対象コース | コンサート・ライブスタッフ/芸能マネージャーコース | |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 簿記のテキストを使用し、仕事に役立つ取り引きの種類、売上総利益、損益分岐点などから精算表を作成し損益計算書及び貸借対照表の見方まで学び、実際の数値入力の練習から、知識のレベルアップを図る。また理解度向上の為毎週確認テストを実施 授業展開は自作のPPとテキストを併用 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 動機付け、損益計算書・貸借対照表の説明。①数値入力で理解度を深める。 上記確認テスト |
| 2 | 動機付け、損益計算書・貸借対照表の説明。②数値入力で理解度を深める。 上記確認テスト |
| 3 | 商品売買の種類、現金と通貨代用証券について① 上記確認テスト |
| 4 | 商品売買の種類、現金と通貨代用証券について② 上記確認テスト |
| 5 | 小口現金の取り扱いについて 上記確認テスト |
| 6 | 手形と貸付金・借入金 上記確認テスト |
| 7 | その他の債権債務、その他消耗品等の費用について 上記確認テスト |
| 8 | 商品有高帳①先入先出法(売上総利益・原価率) 上記確認テスト |
| 9 | 商品有高帳②移動平均法 前期評価テスト |
| 10 | 貸倒れと貸倒引当金① 上記確認テスト |
| 11 | 貸倒れと貸倒引当金② 上記確認テスト |
| 12 | 固定資産と減価償却費① 上記確認テスト |
| 13 | 試算表①/試算表② 上記確認テスト |
| 14 | 法人税・消費税 上記確認テスト |
| 15 | 精算表①(棚卸減耗損・商品評価損についても)/精算表②/精算表③ 上記確認テスト |
| 16 | 損益分岐点説明・練習、グラフ作成 |
| 17 | 後期評価試験 地金繰り表作成① |
| 18 | 資金繰り表作成② |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | スッキリわかる日商簿記3級 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施 |
| 成績評価 | 授業内小テスト40%、期末試験40%、出席率20% S(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|------------|---|---------|---------------------------|
| 科目名 | イベント企画制作実習 | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 永島 麻耶 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 1・2 | 年 | 総授業時間 | 30 時間 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | コンサート・ライブスタッフ/芸能マネージャーコース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | オープンキャンパス、学校・外部イベント、柳都オレンジスタジアム、キョードー北陸などをはじめとしたインターンシップへの参加と自主企画イベントの運営を実践を通して学習する。 |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|----------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 2 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 3 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 4 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 5 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 6 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 7 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 8 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 9 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 10 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 11 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 12 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 13 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 14 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |
| 15 | インターンシップ・イベント企画などの実施 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施 |
| 成績評価 | 報告書の提出80%、実践および活動意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(プロモーター・有料会報誌編集長として勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者) |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|---------|---|---------|---------------------------|
| 科目名 | デザイン実習Ⅱ | | 実務授業の有無 | × |
| 担当講師 | 儀間 鴻太 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 38 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | コンサート・ライブスタッフ/芸能マネージャーコース |

| | |
|------|--|
| 授業概要 | Photoshopの基本操作を学び、HP、写真加工の技術、フライヤーデザインなど実践的な操作を目標とする。 検定取得に向けた演習問題の実施等。 |
|------|--|

| 授業計画 | |
|------|--|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | ①【基本操作】Photoshopソフトについて |
| 2 | ②【基本操作】Photoshop、Illustratorの組み合わせ方、実践の知識。 |
| 3 | ③【基本操作】Photoshop基本操作の実践 |
| 4 | ④【基本操作】Photoshop基本操作の実践 |
| 5 | ⑤【基本操作】Photoshop基本操作の実践 |
| 6 | ⑥【基本操作】Photoshop基本操作の実践・演習問題 |
| 7 | ⑦【基本操作】Photoshop基本操作の実践・演習問題 |
| 8 | ⑧【基本操作】Photoshop基本操作の実践・演習問題 |
| 9 | ⑨【基本操作】Photoshop基本操作の実践・演習問題 |
| 10 | ①【加工、デザイン】演習問題 |
| 11 | ②【加工、デザイン】演習問題 |
| 12 | ③【加工、デザイン】演習問題 |
| 13 | ④【加工、デザイン】演習問題 |
| 14 | ①【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践 |
| 15 | ②【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践 |
| 16 | ③【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践 |
| 17 | ④【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践 |
| 18 | ⑤【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践 |
| 19 | ⑥【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践 |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | PhotoshopクイックマスターCC・問題集 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施 |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | |

SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------------|---|---------|---------------------------|
| 科目名 | メディアプロモーション | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | スワンブ | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 総授業時間 | 38 時間 |
| | | | 対象コース | コンサート・ライブスタッフ/芸能マネージャーコース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | <p>SWAMP自身のアーティストとしての音楽活動をプロモーション、マーケティングしていく。 楽曲のリリース、SNSなど、実際の素材を使用してマーケティングしていく。 リリースイベントの企画・制作。レコーディングへの参加や、MVの撮影、グッズ展開など、音楽事業に関わるあらゆる面での企画と制作を実地で行う。</p> |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 「自己紹介・プラン発表」講師、生徒同士のコミュニケーションを図り、お互いの可能性を発表する |
| 2 | レコーディング風景を撮影(ポータルREC) |
| 3 | 動画編集、SNSの動画アップについて議論、4月中にアップ |
| 4 | 5/7のライブ映像の編集 |
| 5 | 動画編集、アップの日程を決める |
| 6 | グッズについてアイデア出し、動画編集 |
| 7 | リリースイベントのミーティング |
| 8 | レコーディング風景動画を編集 |
| 9 | アルバムのデザイン案ミーティング |
| 10 | グッズについて発表、手配 |
| 11 | アルバムパッケージ制作 |
| 12 | アルバムリリース告知方法についてミーティング |
| 13 | レコーディング映像&ライブ映像編集 |
| 14 | レコーディング映像&ライブ映像編集 |
| 15 | グッズ完成 |
| 16 | アルバムリリース |
| 17 | リリースライブ撮影の準備 |
| 18 | 動画編集 |
| 19 | 動画編集、まとめ |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施 |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | WEB、SNSなどプロモーション企画会社の運営。2005年よりラジオパーソナリティーのキャリアを積む一方、司会業や商品開発、プロデュースなど幅広い分野で活動を展開。音楽活動では10代よりSWAMP名義でライブやCDリリースを行ない、フリースタイルMCとして数々のMCバトルで優勝の経験を持つ。アウトドア空間プロデュースユニット「旅するテント」主宰。 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|---------|---|---------|---------------------------|
| 科目名 | 地方創生論 | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 斎藤和利 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 38 時間 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | コンサート・ライブスタッフ/芸能マネージャーコース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | <p>地方創生とは地元新潟を学ぶことから始まる。県の歴史や風土、文化芸術、農業など知られていないことが多い。東京・大阪とは違う新潟の魅力を深掘りする。ふるさと新潟に自信と誇り持てるよう偉人達にも学ぶ。また教室から飛び出し新潟の文化に触れることで自分自身の感受性を高めて貰う。</p> <p>講座後半では社会人としての常識やマナーなども採用社側からの視点でレクチャーやアドバイスも行う</p> |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|-------------------------------------|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | ガイダンス(自己紹介～地方創生とは何か？講座についての説明) |
| 2 | 新潟県の成り立ちルーツ&日本で一番特殊な県新潟を深掘りする |
| 3 | 佐渡は世界でも稀な離島～世界遺産になって当然の宝島！ |
| 4 | 行形亭で新潟の芸妓料亭文化を学ぶ |
| 5 | 新潟越後人気質を創った張本人～上杉謙信に学ぶ |
| 6 | 「昭和の新潟」を貴重映像(DVD)で観る～災害からの復活を繰り返した県 |
| 7 | 坂口安吾の業績は世界的なのに…どうしてもっと知られないのか！？ |
| 8 | 「風の館」訪問学習～坂口安吾と新潟の昔風景 |
| 9 | 前期のまとめと後期授業内容についてのレクチャー&前期テスト実施) |
| 10 | 後期授業スタート～前期振り返り&テスト復習と後期内容について説明 |
| 11 | 郷土の偉人田中角栄が日本のラジオ&テレビを創った！？ |
| 12 | 鍋茶屋で江戸・明治・大正・昭和の越後の栄華を追体験する |
| 13 | 新潟の街歩き～文学碑、護国神社等 |
| 14 | 重要有形文化財を残す料亭大橋屋を見学学習 |
| 15 | 知足美術館で新潟絵画を研究～㈱キタックが運営する民間美術館 |
| 16 | 「みなとびあ」で新潟の歴史を学ぶ |
| 17 | 近未来の新潟はどうなる？メタバースとウエップ3が世界を変える！？ |
| 18 | 新潟の企業について学ぶ(社会人の常識と就職試験のノウハウなど) |
| 19 | 通期授業の総まとめ(学生の進路相談など質問と対話) |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業 モニター画面で授業を進行、新潟の昔の映像やドローン映像などで新潟を学習。屋外での授業も進める。 |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 新潟放送でラジオ・テレビ・イベントなど番組制作企画営業等を担う。 東京・大阪で支社責任者を経て本社常務取締役営業本部長を務め グループ会社㈱BSNウェブ代表取締役社長・会長就任する。 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|---------------|---|---------|-------|
| 科目名 | アーティストプロモーション | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 椎葉克宏(永島麻耶) | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| | | | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 総授業時間 | 38 時間 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 対象コース | |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | <p>戦前戦後を通して、着実に成長を遂げてきた日本の音楽ビジネスは、今大きな岐路に立たされています。ここ10年、音楽業界を牽引してきたライブビジネスが、コロナ禍で開催がまったくできなくなったためです。不透明感が漂う時代に、エンタテインメント業界をめざす自分に何ができるのかを考える授業をめざします。具体的には、東京ではなく新潟からエンタテインメントを発信する方法を考えることで、それが決して非現実的なことではないと思えるようになることが大事です。音楽はもはや日本のどこにいても生み出すことができます。そのことを十分に理解し、授業に臨んでもらいたいと思います。</p> |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|---|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | ガイダンス～この講座がめざすものを理解する |
| 2 | 【ヒットとはなにか？①】 80年代のCity Popが注目される理由 |
| 3 | 【ヒットとはなにか？②】 90年代プロデューサーの時代の音楽 |
| 4 | 【ヒットとはなにか？③】 2010年代K-POPが日本にもたらしたもの |
| 5 | 【ヒットとはなにか？④】 今のヒット曲の特徴を歌詞から考える |
| 6 | 【ヒットとはなにか？⑤】 アニメと実写、面白さの違いはどこにある？ |
| 7 | 【ヒットとはなにか？⑥】 「ヒットとはなにか？」をポストヒットから自分の意見を発表する |
| 8 | 【人から話を聞く①】 新しいアイデアのヒントは人との会話にある |
| 9 | 【人から話を聞く②】 仲間との会話から新しいアイデアを見つける（夏休みの宿題「インタビュー」） |
| 10 | 【人から話を聞く③】 夏休みの宿題発表・プレゼンテーション |
| 11 | 【人から話を聞く④】 優秀企画案を議論でブラッシュアップする |
| 12 | 【企画書の作り方①】 企画書の作り方の基礎その1 |
| 13 | 【企画書の作り方②】 企画書の作り方の基礎その2 |
| 14 | 【企画書の作り方③】 企画書の作り方 実践編（「16Personalities」） |
| 15 | 【企画書の作り方④】 企画書の作り方 実践編 それぞれの企画案プレゼンテーション |
| 16 | 【企画書の作り方⑤】 新潟をエンタテインメントの街にする企画を考える その1 |
| 17 | 【企画書の作り方⑥】 新潟をエンタテインメントの街にする企画を考える その2 |
| 18 | 【企画書の作り方⑦】 新潟をエンタテインメントの街にする企画を考える その3 |
| 19 | 講座振り返り |

| | |
|-----------|---|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施 |
| 成績評価 | 課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 株式会社コロンブスコミュニケーションズ入社（S60年4月～S61年10月） 株式会社勤文社 ビデオ事業部（S61年10月～S62年3月）「月刊デ・ビュー」副編集長（H5年1月～H8年1月） オリコン株式会社に転籍 「キッズスタイル」事業部長（H14年7月～H19年7月）「オリジナルコンフィデンス」兼任編集長 令和2年7月 ライブ・エンタテインメント・ラボ客員研究員（現在に至る） |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------------|---|---------|-------|
| 科目名 | 雑誌編集・情報発信基礎 | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 風間彰亮 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 総授業時間 | 34 時間 |
| | | | 対象コース | 全コース |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | 情報誌、ウェブというメディアの役割を理解し、それらが作られ、世の中に情報を発信するまでの一連の流れを学んでいく。また、新潟という地域におけるローカル雑誌やウェブメディアの重要性を学び、情報を発信することでユーザーの行動を促すことや、それ自体が地域を活性化させていく仕事の一つであることを理解してもらう。1回の講義では、基本的に1コマは座学、もう1コマでは実際に雑誌やウェブ記事の制作に必要な業務(企画・取材・インタビュー・写真撮影・原稿作成・校正等)を想定しての実務作業を行う。 |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|--|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | 【イントロ】→この講義の概要、目的を説明する【雑誌・ウェブメディアの基礎知識】→どうやって成り立っているかを知る【雑誌・ウェブメディアの役割】→雑誌メディアのニーズや世の中における役割などを学ぶ【雑誌・ウェブメディアができるまで】→雑誌が作られるまでの流れを知る |
| 2 | 【雑誌・ウェブメディアの企画・特集などの立案について】→「雑誌の企画や特集記事などはどのようにして作られるのか？」読者のターゲット、そのニーズやトレンドに合わせた企画立案を学んでいく【実践】→雑誌のコンセプトや特集などを決める企画のディスカッションをやってみる |
| 3 | 【具体的なページコンテンツ出し・取材候補策定】→「具体的な特集やページのコンテンツはどのようにして作られるか？」雑誌のコンセプトに沿って、具体的なページを想定していく【実践】→「実際に何を掲載するか？」をディスカッションする。そしてページコンテンツ出し・取材候補をリストアップしていく |
| 4 | 【取材について】→「実際の取材はどのようにして行われているか？」アポイントの基本、取材相手から大事な話を引き出すにはどうしたらよいか？【実践】→インタビュー。テーマを決めて、交互にインタビューをする |
| 5 | 【原稿書きについて①】→「原稿を書く時の基本とは？」説得力のある文章の書き方。分かりやすく、メッセージを伝える方法など【実践】→実際に原稿を書いてみる |
| 6 | 【原稿書きについて②】→雑誌とウェブにおける書き方の違い【実践】→実際に原稿を書いてみる |
| 7 | 【写真撮影について①】→「雑誌やウェブにおける写真の重要性と、その基本とは？」どんな写真がよいのか？写真が持つ意味、よい写真の基本的な撮り方を学ぶ【実践】→可能な限り、カメラで撮影をする |
| 8 | 【写真撮影について②】→スマートフォンを使い、街に出てカメラで撮影をする |
| 9 | 【前期のまとめ・実践】→前期に学んだことを踏まえ、テーマを決めて実際に取材や写真撮影、原稿書きを行う |
| 10 | 【後期】→後期は前期での学びを活かした実践の場。情報誌「月刊にいがた」タイアップ特集を制作するのが目的。【実践】→特集内容を定めるためのアイデア出し |
| 11 | 【実践】→「月刊にいがた」特集のテーマ決定 |
| 12 | 【実践】→「月刊にいがた」特集の取材先リストアップ、制作ページのサムネール書き |
| 13 | 【実践】→「月刊にいがた」特集の取材① |
| 14 | 【実践】→「月刊にいがた」特集の取材② |
| 15 | 【実践】→「月刊にいがた」特集の取材③ |
| 16 | 【実践】→「月刊にいがた」特集の原稿作成①② |
| 17 | 【実践】→「月刊にいがた」特集の校正、原稿内容確認/雑誌編集・情報発信基礎 卒業論文作成・発表 |
| 18 | |
| 19 | |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施 参考:必要に応じて、見本雑誌やプリント資料の配布をする。 |
| 成績評価 | 授業への取り組み姿勢60%、実践授業への参加状況20%、提出課題の内容評価20%。 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | 新潟の情報誌「月刊にいがた」および、新潟のローカルWEBメディア「月刊にいがたWEB」を発行・運営する株式会社ジョイフルタウンの営業企画部 副部長。編集ディレクター、インタビュアー、ライター、カメラマン。 |

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

| | | | | |
|------|-------------|-------|---------------------------|-------|
| 科目名 | デジタルマーケティング | | 実務授業の有無 | ○ |
| 担当講師 | 小野憲人 | | 講義実施時期 | 前期・後期 |
| 対象学年 | 2 | 年 | 必修・選択 | 必修 |
| 対象学科 | 音楽ビジネス科 | | 総授業時間 | 34 時間 |
| | | 対象コース | コンサート・ライブスタッフ/芸能マネージャーコース | |

| | |
|------|---|
| 授業概要 | <p>インターネット時代に音楽アーティストに関わるうえで、必要となる考え方、ツールの活用法、事例から学ぶ効果的なプロモーション方法などを学ぶ。 また、デジタル時代における最低限の音楽ビジネス知識、著作権の考え方などについても学ぶ。 また、Grand Concert!に向けてのSNS運用を行いながら、当事者意識をもって実際のSNSの運用を考えていく。</p> |
|------|---|

| 授業計画 | |
|------|--|
| 回数 | 授業テーマ・授業内容・特記事項など |
| 1 | イントロダクション。マーケットの現状と、インターネット時代に考えなくてはならないこと。 |
| 2 | 音楽ストリーミングサービスについて。仕組みとビジネスの仕組み。ディストリビューターの役割について。 |
| 3 | 「知ってもらい、聴いてもらう」ためのアーティスト運営。ストリーミング再生を促すための取り組み。キャンペーン。 |
| 4 | GW明け。振り返りと、アナリティクスツールの活用。 |
| 5 | 音楽サービスとしてのYouTube。 |
| 6 | 【インターネット時代の権利ビジネス】原盤権と著作権 |
| 7 | 【インターネット時代の権利ビジネス】楽曲をカバーしたいとき、どうすればよい？ |
| 8 | 【インターネット時代の権利ビジネス】楽曲をカバーしたいとき、どうすればよい？ |
| 9 | 前期授業の振り返り。中間試験。 |
| 10 | 前期授業の振り返りと、提案アルゴリズムに対する理解。PRE SAVE / PRE ADDの必要性。 |
| 11 | UGCの重要性、誘発する仕掛け：CANVAS。Instagram Reels, YouTube Shorts ショート動画プラットフォームについて。 |
| 12 | ニューリリースに向けてのスケジューリングと準備。プレイリストの活用。データからヒット作の取り組みを見る。 |
| 13 | YouTubeケーススタディ。続けるためのコンテンツ、長時間見てもらうためのコンテンツ |
| 14 | インターネット広告について。 |
| 15 | 便利なまとめリンクの活用。SNS運用のお悩み相談。 |
| 16 | 授業内容の振り返り。ファンに対して丁寧に伝えることの大切さ。 |
| 17 | Grand Concert!に向けたSNS運用についてのワークショップ。 |

| | |
|-----------|--|
| 教科書等 | なし 授業形態／対面授業 参考講座：IMCJ Independent Next 2023, YouTube Japan Creator Camp 2022, IMCJ New Standard Music Marketing 2022 |
| 成績評価 | 試験・課題80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 |
| 実務経験教員の経歴 | タワーレコード(株)レーベル制作部、(株)onepeaceにおいて、音楽アーティストのA&Rと、楽曲のデジタルディストリビューション、SNS運用を経験。その後フリーランスとなり、レーベルやマネジメント事務所に対してSNSを活用した音楽アーティストのプロモーションのサポートに従事。2021年より新潟で柳都アーティストファームにてRYUTistを運営。SHOW!、i-MEDIAの非常勤講師も担当。 |